

令和6年度
中野島小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標
豊かな学力を身につけ、進んで問題解決に取り組む児童の育成

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員	委員
	校長:原田 宏志 教頭:松葉 真裕美 人権教育主事・4年担任:西田 亜弓 生徒指導主任・5年担任:吉岡 拓也 教務主任・通級担当:小川 麻奈美 研修主任:八木 紀美子
伊藤 佳代	

校長
原田 宏志

【各校の取組状況の把握について】

研修会等で拠点校を中心として各校の取組や状況の把握を行う。

【各校の取組状況の把握について】

教員からの報告や定期的な研修会等で取組状況の把握を行う。

◎次の（１）～（３）をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

（１）知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○真面目に努力する児童が多いので、国語科の漢字や言葉、算数科の数量や図形についてはある程度の定着が見られる。 ○朝の活動の時間を復習等の時間と有効に活用できている。 ●学力の個人差が大きく、理解に時間がかかる子、時間の経過と共に忘れてしまう子、語彙力が乏しく文章が読み取れない子がいる。	・宿題などを欠かさずに提出できる子。 ・基礎的・基本的な知識・技能を確実に身につけることができる子。	・繰り返して、具体的操作やペア学習、ドリル学習やフラッシュカードの活用などを行う。 ・計画的に課題を出し、文章力をつける指導を充実させる。	全国学力・学習状況調査やステップアップテストの結果を鑑み、基礎的・基本的な知識・技能の定着を意識して、普段の授業や、宿題の内容を工夫する。	・様々な方策により、基礎的・基本的な知識、技能の定着は概ね達成できた。 ・機会をとらえて文章を書く量を増やし、推敲することによって質を高めた。	継続して基礎的・基本的な知識・技能を大切にすると共に、定期的に計画的な復習をする。 他教科と関連づけて、文章力を高めるためのステップを細分化し、段階的に指導していく。

（２）思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○自分の考えを表現することは、それぞれ、意欲的に行えている。 ○方法や手順の分かる学習には、真面目に取り組んでいる。声の大きさや内容など、相手を意識した話し方ができている。 ●相手の話を受けて話す力が弱い。 ●「話す」「書く」の表現力が苦手で、根拠や理由を明らかにしながら、筋道を立てて説明する力が不十分である。	・友達の意見を受けて自分の考えを深めたり、根拠や理由を明らかにしながら、筋道を立てて話したり、文章にしたりできる子。	・ペア、班など、小さいグループから始め、表現する経験を何回も体験させる。上手く表現できた子を褒め、自信をもたせる。 ・話し方や書き方を例示し、抵抗感を軽減させる。行事後にスピーチや作文を書くなど、表現する機会を増やす。	話すことや書くことを意欲的に自ら行う学習活動を探ってきた。これらの学習が少しずつ子どもの力になってきているので、継続する。	・ペア学習を通して、自分の学習理解度を意識したり、間違いを正したりする姿が見られた。 ・表現の機会を増やし、例を示すことにより根拠や理由を説明できたり、言葉の意味や既習漢字に気をつけて文章表現できたりする子が増えてきた。	読書によって語彙をさらに増やすと共に、習った言葉を日常生活の中でもっと使えるように指導していく。 ペアなどの小グループでできることを、クラス全体など大きな場でもできるように励ます。

（３）主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○意欲的で頑張りたい気持ちがあふれている子が多い。 ○家庭学習や朝の読書が習慣化されており、与えられた課題について真面目に取り組める。 ●集中力、持続力に欠け、姿勢の保持も難しい子がいる。 ●自分から課題を見つけ、宿題以外の学習に取り組む子が少ない。ゲーム機やスマホの利用時間が長く、生活リズムの改善が必要な子が見られる。	・学習に取り組む態度を身につけ、課題のその先を意識して進んで学習できる子。 ・学習準備がきちんとでき、進んで読書や自主学習に励み、自ら学ぶ楽しさを実感できる子。	・次時の準備や正しい姿勢を習慣化させる。 ・忘れ物を減らし、連絡帳に記入し、それを確認する等、学習に必要なものの準備をきちんと整える習慣を身につけさせる。 ・『自主学習おすすめメニュー』を作成し、定期的に自主学習ノート进行评估することで、学習意欲が持続するようにする。	学習に取り組む基本的な態度が、定着しつつあるが十分ではないので、気づけるよう声かけをしていく。自主学習ノートも、主体的に取り組める子が多いので、これからも励ましていく。	・意欲的に学習しようとする姿が見られた。 ・忘れ物を減らすために各自で工夫したり、持ち物の確認をしたりすることで、学習にスムーズに取りかかれるようになった。	姿勢保持が難しそうときには、動きのある活動を学習に取り入れる。 主体的に学習したときに、視覚で分かる評価をする。 自主学習ノートがマンネリ化しないよう、メニューを工夫する。 新聞やニュースなどから社会的事象について関心を高め、自分なりに考えをもつようにする。

令和6年度 学力向上ロードマップ

